

1 沿革

佐賀県衛生薬業センターの前身は、元警察部衛生課に属し細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていたが、のちに内務部へ移管され、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管になり、更に昭和23年10月22日（昭和23年4月7日厚生省予発第20号、地方衛生研究所設置要項に基づき）細菌検査・衛生試験を強化するため検査・試験両室を統合整備して、佐賀県衛生研究所（県庁構内）が発足した。平成13年、薬業指導所と統合し、衛生薬業センターに名称変更した。

昭和24年4月 総務課、試験検査課の2課制となる。

昭和36年3月 試験検査課を細菌検査室と理化学検査室に分ける。

昭和38年10月 総務課、微生物検査課、理化学試験課の3課制となる。

昭和40年6月 佐賀保健所、衛生研究所の衛生合同庁舎（佐賀市水ヶ江一丁目）の新設に伴い移転。

昭和45年9月 公害検査課が新設され4課制となる。

昭和49年4月 佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され3課制となる。

昭和58年12月 佐賀中部保健所、衛生研究所、精神保健福祉センターの衛生合同庁舎（佐賀市八丁畷町）の新設に伴い移転。

平成13年7月 薬業指導所と統合し、医薬品課を新設、「衛生薬業センター」に名称変更。

平成14年4月 総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の3課制となる。

平成22年4月 佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査室が統合されて、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の5課制となり、検査室も増える。

(歴代所長)

山口伊典 (昭和24年4月～昭和27年6月)
西村信一 (昭和27年6月～昭和28年1月)
清水正一 (昭和28年2月～昭和55年3月)
佐藤一江 (昭和55年4月～昭和60年3月)
佐柳進 (昭和60年4月～昭和60年12月)
本村資光 (昭和60年12月～平成元年4月)
土田龍馬 (平成元年4月～平成6年3月)
石塚正敏 (平成6年4月～平成8年7月)
金井雅利 (平成8年8月～平成11年7月)
山崎勝彦 (平成11年8月～平成14年3月)
山口博之 (平成14年4月～平成16年3月)
下平裕之 (平成16年4月～平成17年3月)
久保康典 (平成17年4月～平成18年3月)
藤原義行 (平成18年4月～平成20年3月)
武田裕二 (平成20年4月～平成22年3月)
轟田清典 (平成22年4月～平成24年3月)